

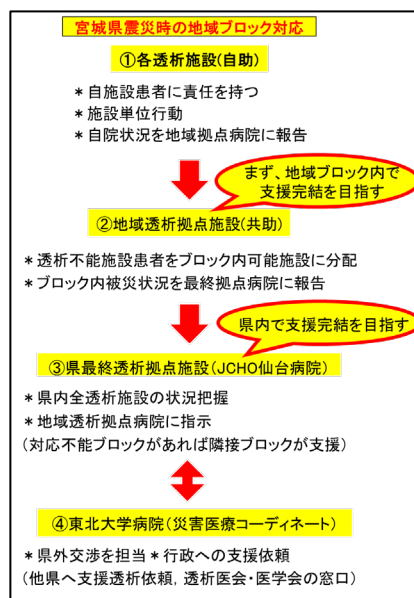
宮城県透析施設間連絡網情報伝達訓練について

宮城県腎臓協会 災害対策ワーキンググループ 多賀城腎・泌尿器クリニック 秋山勝俊

宮城県の透析施設の災害対応の基本として、災害発生時に自施設での透析が不能な場合は、地域ブロック内で支援完結を目指し、支援施設の1クールを被災施設の患者・スタッフが共に借りる「オープンシステム」の構築を目指している。

しかし地域ブロックでの対応が困難な場合は隣接ブロックでの支援を、それでも困難な場合は隣県や広域搬送を検討する事としており、これに沿って県全体の情報伝達訓練は、年2回、3月11日と9月1日に行う事としている。

3月の訓練は、まず2月に日本透析医会災害時情報ネットワークへの訓練書き込み申請を行い、確認が取れ次第、訓練案内・タイムテーブル等の資料をEメールへ添付し送付する。9月の訓練は、全国の日本透析医会災害時情報ネットワーク書き込み訓練と同日に行う。



～情報伝達訓練の流れ～

- 訓練当日 12 時に、県内透析施設全体の本部となる JCHO 仙台病院が訓練の概要を M C A 無線にて一斉送信を行う。
- 15 時に、JCHO 仙台病院より、「只今の時間を地震発生時間とし、15 時 30 分より情報収集訓練を開始して下さい」との一斉送信を行う。
- 15 時 30 分より、各ブロックの拠点施設がブロック内の施設に対し情報収集を行う。
基本 M C A 無線にて行うが、M C A 無線が無い施設へは衛星電話や SNS、固定電話を用いて行う。
- 15 時 45 分より、JCHO 仙台病院より一斉送信にて、拠点施設へ情報収集結果の確認を行う。
- 16 時より、M C A 無線にて情報収集結果の報告を一斉送信する。
- 6 月と 12 月に、県全体の代表者会議を行い、訓練結果報告・次回訓練予定・各ブロック内の訓練報告等を行う。